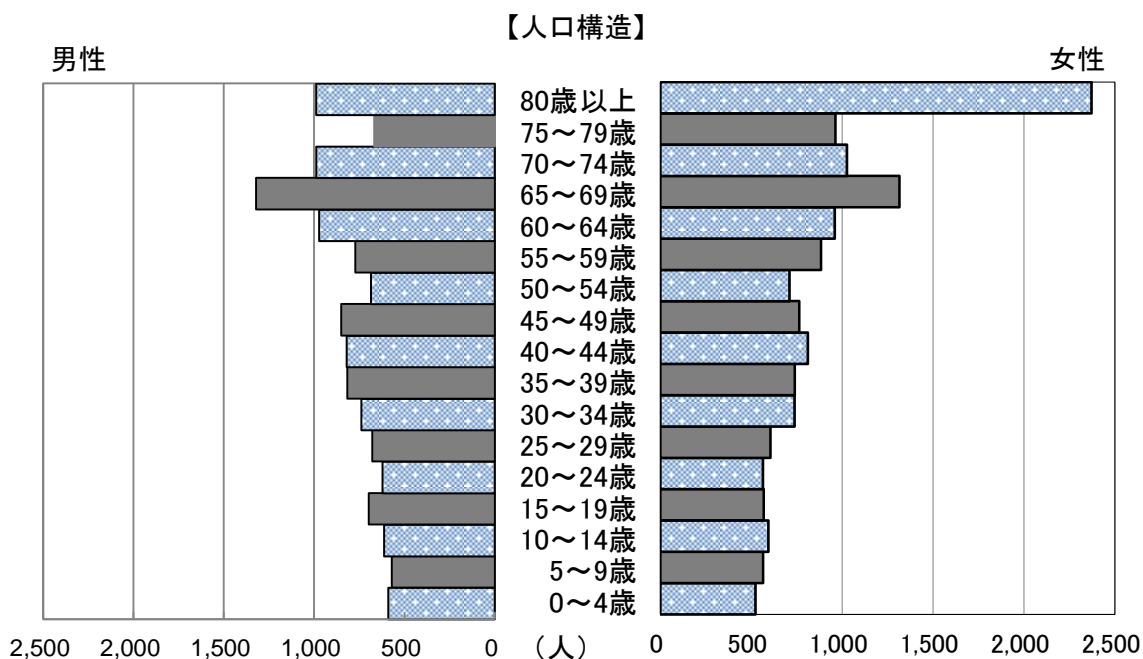


第2章 宮若市の子ども・子育て家庭を取り巻く現状

1. 人口の推移

(1) 人口構造

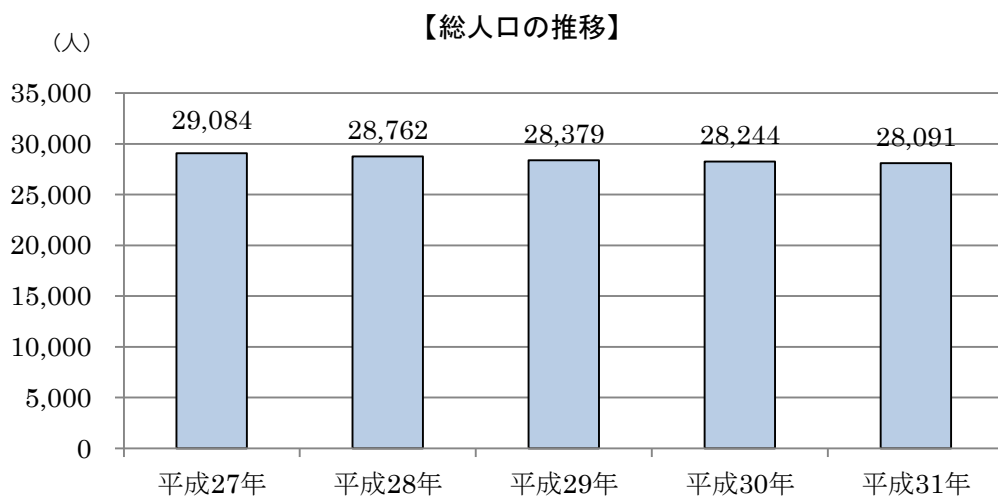
本市の人口構造をみると、80歳以上の女性が最も多く特徴的です。



※資料：住民基本台帳（平成31年3月末時点）

(2) 総人口の推移

本市の人口は、平成27年の29,084人から平成31年の28,091人へと、緩やかな減少傾向を示しています。

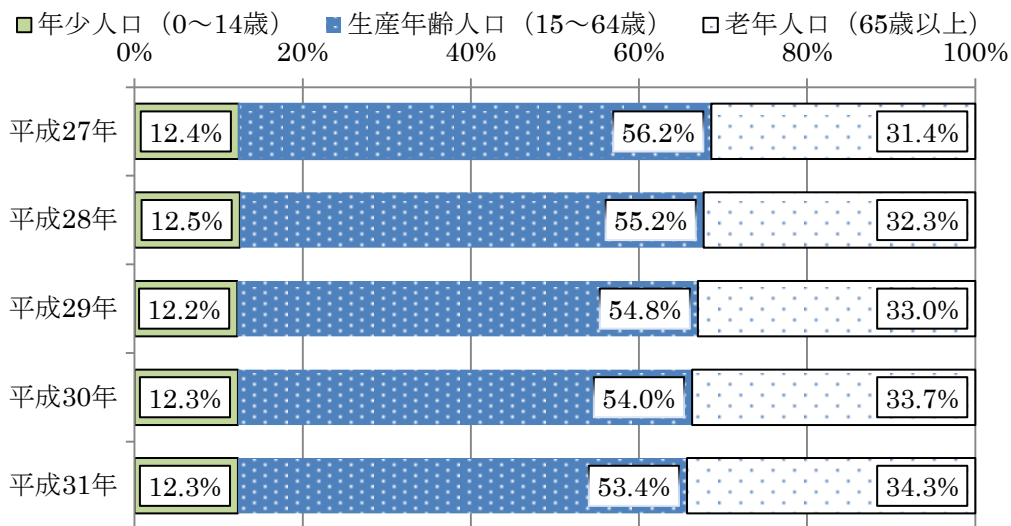


※資料：住民基本台帳（各年3月末時点）

(3) 年齢3区分別人口

年齢3区分別人口割合の推移をみると、年少人口（0歳～14歳）の比率はほぼ横ばいの状態で推移していますが、老年人口（65歳以上）は平成27年以降増加しており、高齢化が進行していることがわかります。

【年齢3区分別人口割合の推移】

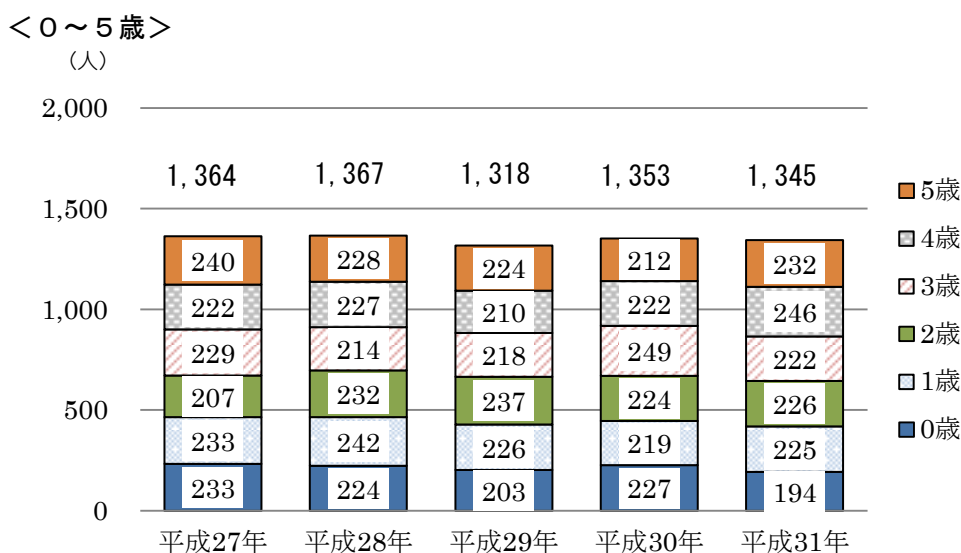


※資料：住民基本台帳（各年3月末時点）

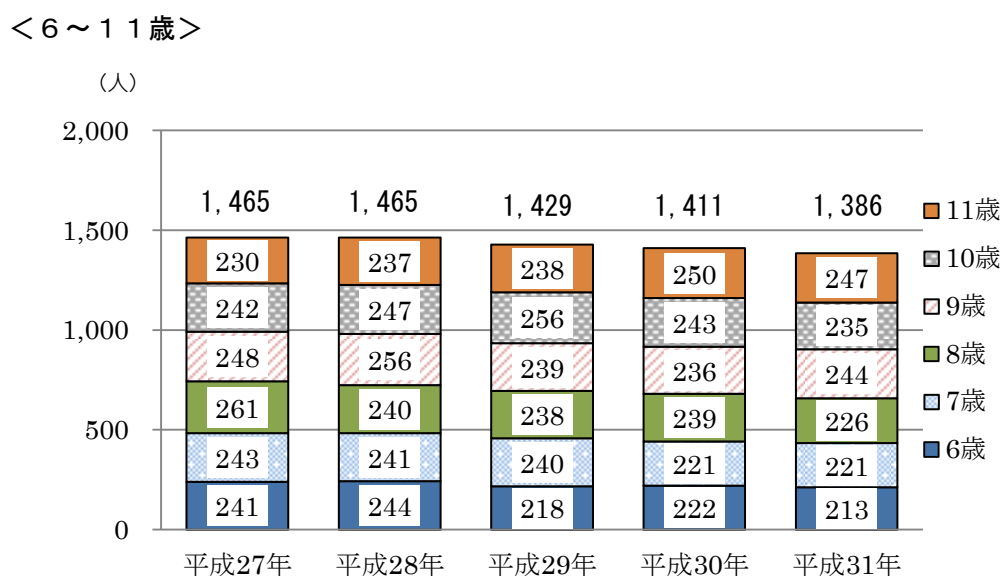
(4) 児童人口の推移

本市の児童人口をみると、0歳～5歳までの就学前児童はおおむね1,350人前後で推移しています。また、6歳～11歳までの児童人口は平成27年度以降ゆるやかに減少しています。

【児童人口の推移】



※資料：住民基本台帳（各年3月末時点）

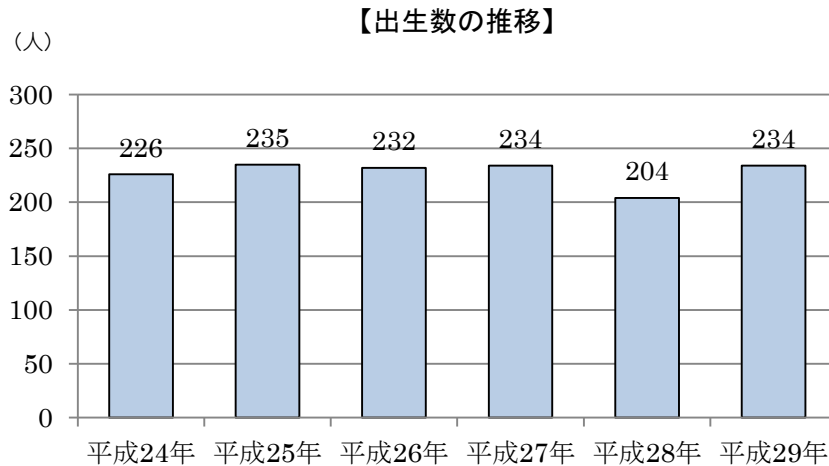


※資料：住民基本台帳（各年3月末時点）

2. 出生の動向

(1) 出生数の推移

本市の出生数の推移をみると、平成24年から230人前後で推移しています。平成28年のみ減少しましたが、平成29年には増加に転じており、234人となっています。

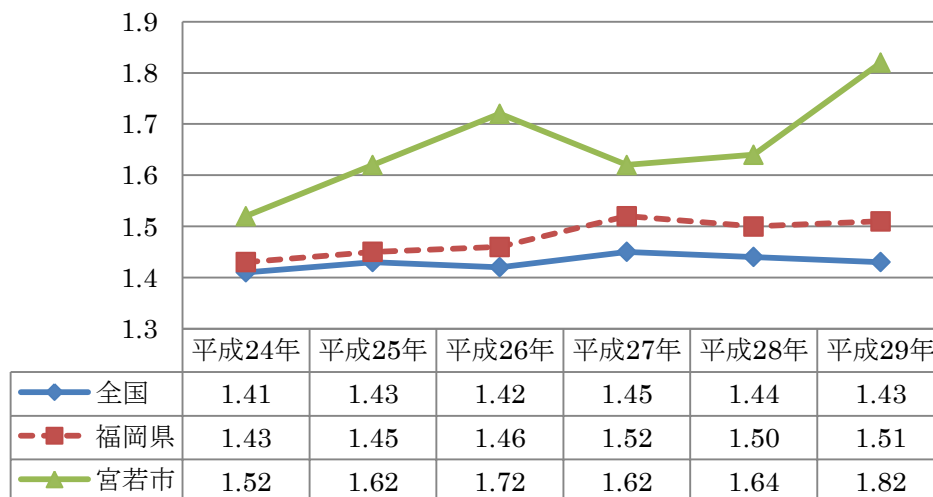


※資料：人口動態統計

(2) 合計特殊出生率の推移

一人の女性が一生のうちに産む子どもの平均数である合計特殊出生率は、国・県を上回って推移しており、平成29年には1.82となっています。

【合計特殊出生率の推移（国・県との比較）】

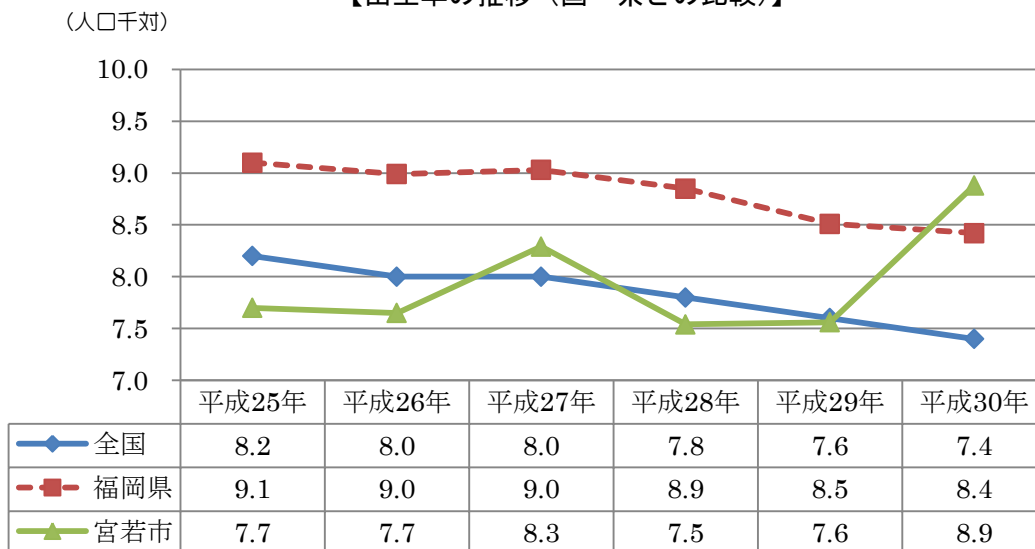


※資料：人口動態統計

(3) 出生率・死亡率の推移

出生率は、平成27年は国を上回りましたが、平成28年には減少に転じ、平成30年は国・県を上回っています。また、死亡率は国・県を大幅に上回っています。

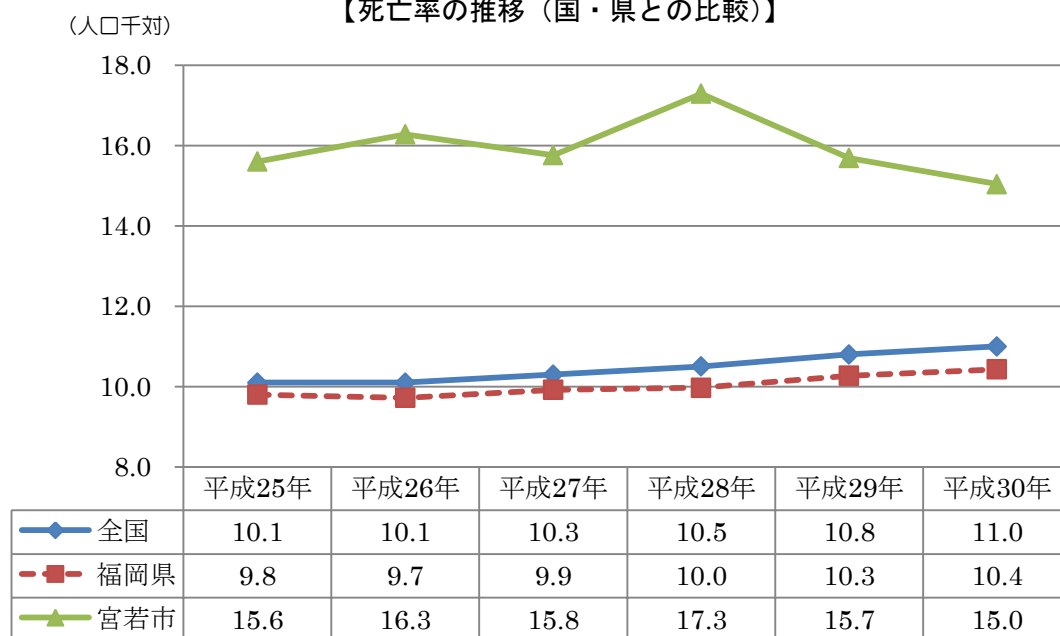
【出生率の推移（国・県との比較）】



※資料：人口動態統計

※出生率（人口千比）：各年10月1日現在推計人口に対する割合（全国・県）

【死亡率の推移（国・県との比較）】



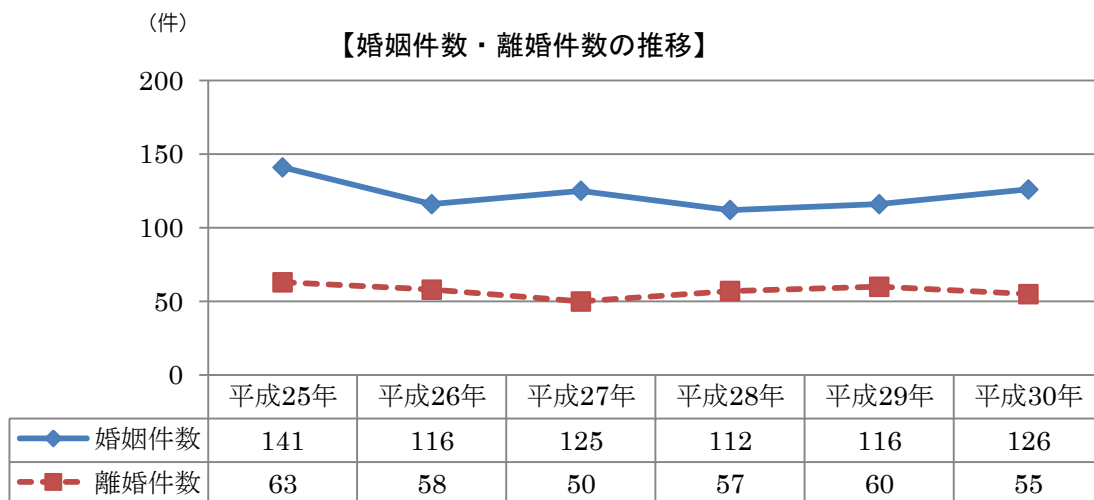
※資料：人口動態統計

※死亡率（人口千比）：各年10月1日現在推計人口に対する割合（全国・県）

3. 婚姻の動向

(1) 婚姻件数・離婚件数の推移

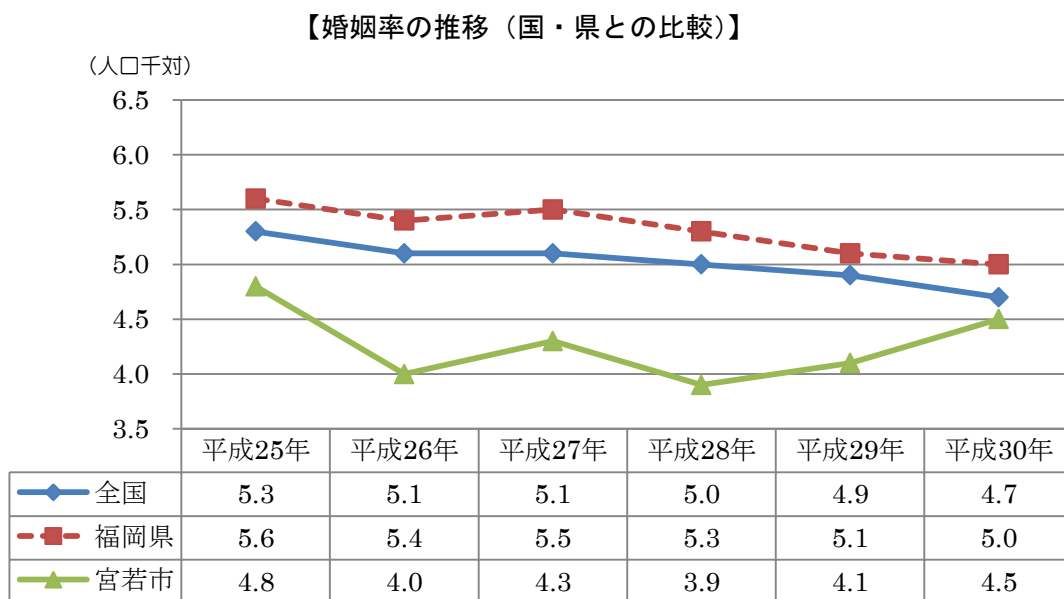
本市の婚姻件数・離婚件数の推移をみると、婚姻件数は平成27年から平成28年にかけて減少していましたが、平成28年から増加に転じ、126件となっています。また、離婚件数は平成27年に50件でしたが、おおむね60件前後で増減を繰り返しています。



※資料：人口動態統計

(2) 婚姻率の推移

婚姻率は平成25年からおおむね4.0前後で推移していますが、平成28年から増加に転じ、平成30年は4.5となっています。しかし、国・県より低い水準で推移しており、全国・県内でも特に婚姻率が低い地域であることがわかります。



※資料：人口動態統計

※婚姻率（人口千比）：各年10月1日現在推計人口に対する割合（全国・県）

(3) 未婚率

平成27年現在の15歳以上の未婚率をみると、男性は31.6%、女性は20.7%となっており、男性の方が高くなっています。特に男性の35歳～49歳では県より5ポイント以上高く、女性の20歳～29歳では、県より5ポイント以上低くなっています。

15歳以上の未婚率の推移を県と比較すると、本市の未婚率は男女ともに県より低い水準で推移していましたが、男性の未婚率は平成27年に県を上回りましたが、女性の未婚率はほぼ横ばいで推移しています。

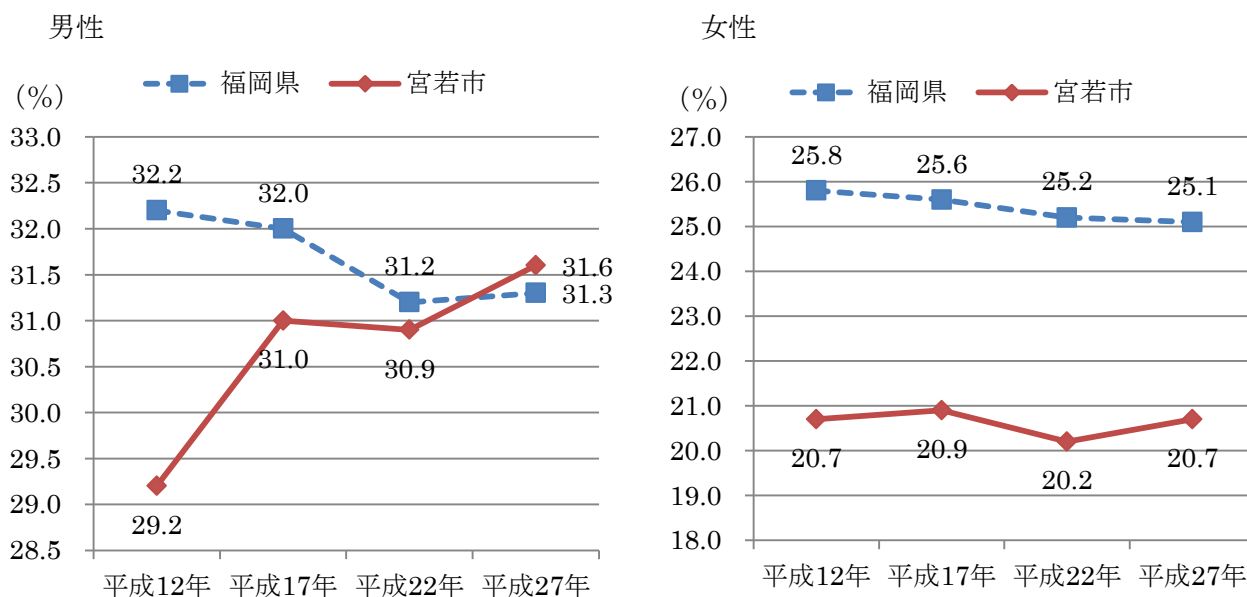
【性別年代別未婚率（男女15～49歳）】

(単位：人)

	男性				女性			
	宮若市			福岡県 未婚率	宮若市			福岡県 未婚率
	総数	未婚 実数	未婚率		総数	未婚 実数	未婚率	
15歳以上総数	11,292	3,569	31.6%	31.3%	13,309	2,751	20.7%	25.1%
15～19歳	597	595	99.7%	99.6%	565	560	99.1%	99.3%
20～24歳	574	509	88.7%	93.8%	515	431	83.7%	90.7%
25～29歳	657	451	68.6%	70.4%	652	344	52.8%	62.7%
30～34歳	755	340	45.0%	44.4%	688	232	33.7%	37.0%
35～39歳	779	297	38.1%	32.7%	794	220	27.7%	26.1%
40～44歳	854	321	37.6%	27.7%	781	201	25.7%	21.1%
45～49歳	646	210	32.5%	24.3%	687	122	17.8%	18.2%

※資料：平成27年国勢調査

【性別（男女15歳以上総数）未婚率の推移（県との比較）】



※資料：国勢調査

4. 人口動態

(1) 人口動態の推移

平成25年度から30年度にかけての人口動態の推移をみると、本市の人口はいずれの年も減少しています。自然増減の死亡数が出生数を上回り、社会増減の転出が転入を上回っていることが総人口の減少の要因となっていることがわかります。

【人口動態の推移】

(単位：人)

		人口増減	自然増減		社会増減	
			出生	死亡	転入	転出
福岡県	平成25年	5,344	46,147	50,112	282,365	273,056
	平成26年	1,801	45,774	49,460	277,721	272,234
	平成27年	566	46,005	50,529	281,197	276,107
	平成28年	5,151	45,165	50,875	281,425	270,564
	平成29年	3,631	43,444	52,458	284,864	272,219
	平成30年	1,156	43,041	53,284	285,771	274,372
宮若市	平成25年	-300	238	441	1,062	1,159
	平成26年	-510	221	470	1,027	1,288
	平成27年	-377	235	447	1,027	1,192
	平成28年	-330	212	486	1,026	1,082
	平成29年	-314	210	436	1,026	1,114
	平成30年	-104	244	413	1,198	1,133

※資料：年報「福岡県の人口と世帯」

(2) 昼夜間人口比率

平成27年現在の昼夜間人口比率は126.1%となっており、昼間は本市以外から通勤通学のため、人が集まって来ていることがわかります。

【昼夜間人口比率】

(単位：人)

	昼間人口(A)	常住人口(B)	昼夜間人口比(A/B)
福岡県	5,105,438	5,101,556	100.1
宮若市	35,445	28,112	126.1

※資料：平成27年国勢調査

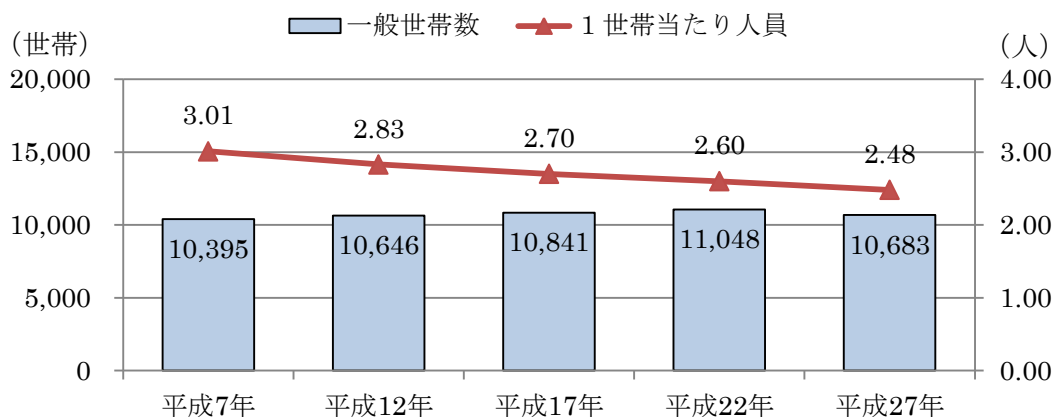
5. 世帯の動向

(1) 一般世帯数、1世帯当たり人員の推移

一般世帯数は、平成7年から平成27年まで緩やかな増加傾向にありますが、1世帯当たり人員は年々減少しており、核家族化が進んでいることがわかります。

国・県では、一般世帯数は年々増加傾向にありますが、1世帯当たり人員は本市と同様に減少傾向にあることから、全国・県内においても核家族化の進行がうかがえます。

【一般世帯数・1世帯当たり人員の推移】



※資料：国勢調査

◇核家族：社会における家族の形態のひとつ。夫婦や親子だけで構成される家族のこと。

【一般世帯数・1世帯当たり人員の推移（国・県との比較）】

(単位：世帯、人)

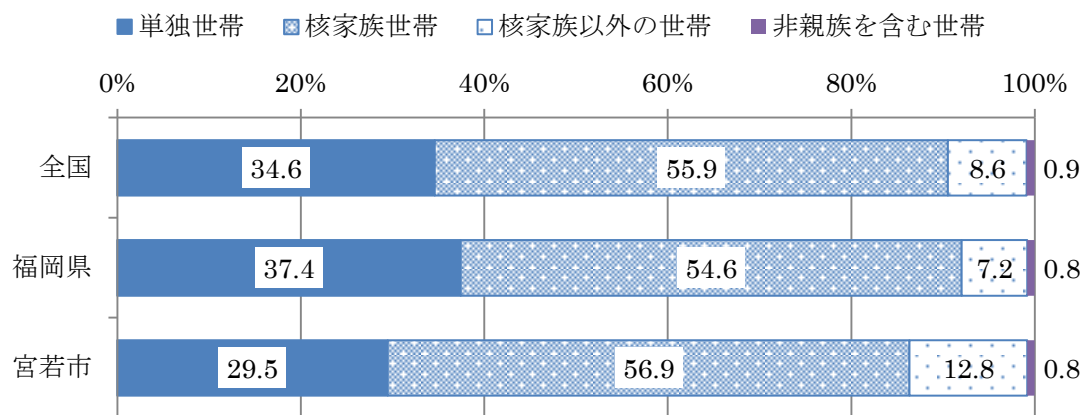
		平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
全国	一般世帯数	43,899,923	46,782,383	49,062,530	51,842,307	53,331,797
	1世帯当たり人員	2.82	2.67	2.55	2.42	2.33
福岡県	一般世帯数	1,774,183	1,906,862	1,984,662	2,106,654	2,196,617
	1世帯当たり人員	2.72	2.57	2.47	2.35	2.26
宮若市	一般世帯数	10,395	10,646	10,841	11,048	10,683
	1世帯当たり人員	3.01	2.83	2.70	2.60	2.48

※資料：国勢調査

(2) 世帯構成

平成27年現在の世帯構成を国・県と比較すると、本市は核家族世帯が56.9%と、国・県と同様に世帯構成の中で最も多くなっています。

【世帯構成（国・県との比較）】



※資料：平成27年国勢調査
 ※端数調整のため、割合の合計が100%にならない場合がある。
 ※世帯の家族類型「不詳」を除く。

- ◇単 独 世 帯：世帯構造の一つの分類で、世帯員が一人だけの世帯。具体的には、未婚のほか、離婚・死別・子供の独立などにより、単身（ひとり）で暮らす人のこと。
- ◇核 家 族 世 帯：夫婦のみの世帯と、夫婦と未婚の子どもから成る世帯（男親と未婚の子どもから成る世帯、女親と未婚の子どもから成る世帯も含む）。また、「世帯」とは、住居及び生計を共にする者の集まり又は独立して住居を維持し、若しくは独立して生計を営む単身者をいう。
- ◇核家族以外の世帯：二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にあるものがある世帯で核家族でない世帯。
- ◇非親族を含む世帯：二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にない人がいる世帯。

(3) 18歳未満の児童のいる世帯数

本市の平成27年現在での一般世帯に占める18歳未満の児童のいる世帯数は2,263世帯となっており、その割合は国・県と大きな違いはみられません。

【一般世帯における18歳未満の児童のいる世帯数（国・県との比較）】

(単位：人)

	一般世帯数(A)	18歳未満の児童のいる世帯数(B)	(B)/(A)
全 国	53,331,797	11,471,850	21.5%
福岡県	2,196,617	469,976	21.4%
宮若市	10,683	2,263	21.2%

※資料：平成27年国勢調査

(4) 1世帯当たりの人員数

本市の1世帯当たりの人員数をみると、福岡県内60市町村中第34位となっており、県平均2.26人と比較すると本市は2.48人で、1世帯当たりの人員がやや多い地域であることがわかります。

【1世帯当たりの人員数】

(単位：人)

順位	自治体名	人員数 (世帯)	順位	自治体名	人員数 (世帯)	順位	自治体名	人員数 (世帯)
1	大木町	3.05	23	福津市	2.56	45	直方市	2.37
2	大刀洗町	2.91	24	みやこ町	2.55	46	嘉麻市	2.36
3	うきは市	2.90		遠賀町	2.55		大任町	2.36
4	筑前町	2.88	26	古賀市	2.54		添田町	2.36
5	みやま市	2.86	27	赤村	2.53	49	香春町	2.35
6	久山町	2.85		志免町	2.53		中間市	2.35
7	柳川市	2.81	29	桂川町	2.51	51	水巻町	2.33
	八女市	2.81		吉富町	2.51	52	大牟田市	2.29
9	東峰村	2.80	31	粕屋町	2.50	53	飯塚市	2.28
10	広川町	2.77		春日市	2.50	54	糸田町	2.26
11	宇美町	2.73		筑紫野市	2.50	55	小竹町	2.24
12	糸島市	2.72	34	宮若市	2.48		苅田町	2.24
	筑後市	2.72	35	鞍手町	2.45	57	川崎町	2.20
	新宮町	2.72		大野城市	2.45		田川市	2.20
15	那珂川町	2.71		福智町	2.45	59	北九州市	2.19
16	小郡市	2.69	38	豊前市	2.44	60	福岡市	1.97
	朝倉市	2.69	39	久留米市	2.43			
18	大川市	2.68	40	築上町	2.42			
19	須恵町	2.67		宗像市	2.42			
20	篠栗町	2.63	42	太宰府市	2.41			
21	上毛町	2.61		行橋市	2.41			
22	岡垣町	2.58		芦屋町	2.41			

※資料：人口移動調査（平成27年10月1日現在）

※一世帯当たりの人員数は人口移動調査の「人口／世帯数」で算出

※福岡県の人員数（世帯）は「2.26」、市部は「2.22」

第2章 【宮若市の子ども・子育て家庭を取り巻く現状】

(5) 母子世帯、父子世帯

平成 27 年現在の本市の母子・父子世帯の割合を県と比較すると、父子世帯は県と同様に 0.2%となっていますが、母子世帯は県を上回っており 2.4%となっています。

【母子・父子世帯の状況（県との比較）】

(単位：世帯)

	一般世帯数	母子世帯数		父子世帯数	
		実数	構成比	実数	構成比
		福岡県	2,196,617	40,071	1.8%
宮若市	10,683	256	2.4%	21	0.2%

※資料：平成 27 年国勢調査

6. 就労状況

(1) 男女別就業率

平成27年現在の男女別就業率は、男性は県より高く、女性は国・県よりも低くなっており、全国より比較的就業率が低い地域であることがわかります。

【男女別就業率の状況（国・県との比較）】

(単位：人)

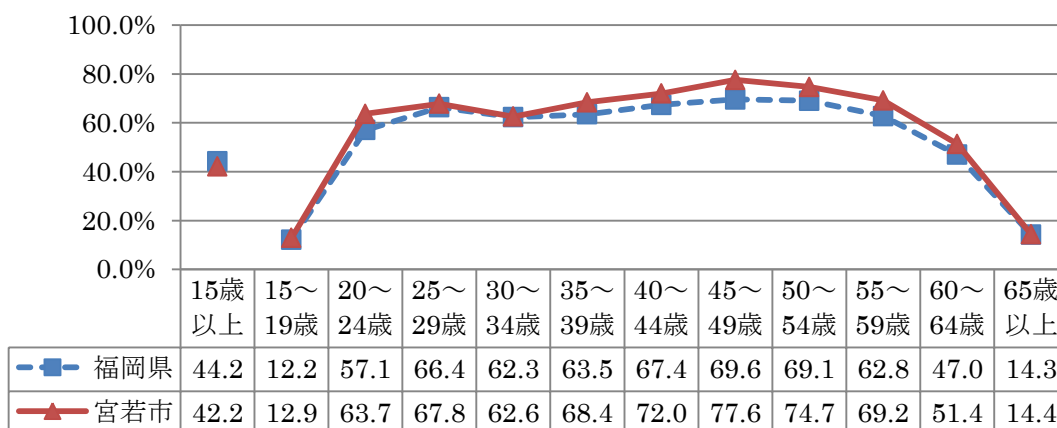
	男性			女性		
	総数	就業者数	就業率	総数	就業者数	就業率
全国	52,879,791	33,077,703	62.6%	56,874,386	25,841,333	45.4%
福岡県	2,029,235	1,223,148	60.3%	2,333,384	1,030,947	44.2%
宮若市	11,292	6,843	60.6%	13,309	5,618	42.2%

※資料：平成27年国勢調査

(2) 女性の年齢別就業率

平成27年現在の女性の年齢別就業率をみると、県より高くなっていますが、20歳～24歳から45歳～49歳まで上昇傾向にあり、結婚・出産しても働き続ける女性と、子育てが一段落してから再就職する女性も多いことがわかります。

【女性の年齢別就業率（県との比較）】



※資料：平成27年国勢調査

【女性の年齢別就業状況（県との比較）】

(単位：人)

	福岡県			宮若市		
	人口	就業者数	就業率	人口	就業者数	就業率
15歳以上総数	2,333,384	1,030,947	44.2%	13,309	5,618	42.2%
15～19歳	123,231	15,024	12.2%	565	73	12.9%
20～24歳	127,063	72,494	57.1%	515	328	63.7%
25～29歳	134,465	89,245	66.4%	652	442	67.8%
30～34歳	155,718	96,943	62.3%	688	431	62.6%
35～39歳	172,601	109,574	63.5%	794	543	68.4%
40～44歳	190,248	128,271	67.4%	781	562	72.0%
45～49歳	166,991	116,290	69.6%	687	533	77.6%
50～54歳	156,089	107,813	69.1%	827	618	74.7%
55～59歳	158,319	99,475	62.8%	946	655	69.2%
60～64歳	184,257	86,582	47.0%	1,213	623	51.4%
65歳以上	764,402	109,236	14.3%	5,641	810	14.4%

※資料：平成27年国勢調査

7. 児童関連施設の状況

(1) 認可保育所の状況

本市の認可保育所は、私立4箇所となっています。公立保育所（宮若市立第2保育所）は平成31年3月末閉園し、私立保育園（なないろ保育園2）が、平成31年4月に新設されました。

0～5歳児の入所対象児童数は平成27年度以降1,350人前後となっており、入所児童数は平成27年度から年々増加しています。

入所対象児童のうち保育所（園）を利用している児童の割合（利用率）は、平成30年度で33.92%となっています。

区分 (公立・私立)	名称	所在地	定員 (人)	開所時間 (延長含む)
私立	宮田保育園	宮田124番地	150	7:00～19:00
私立	福丸保育園	福丸504番地	120	7:00～19:00
私立	なないろ保育園	本城445番地	90	7:00～19:00
私立	なないろ保育園2	本城441番地	75	7:00～19:00
計			435	

※資料：子育て福祉課（基準日 平成31年4月1日）

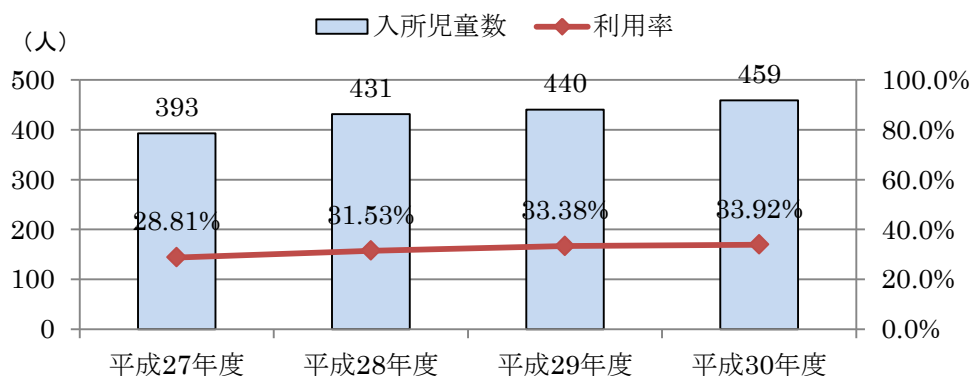
【認可保育所（園）の入所対象児童数、入所児童数などの推移】

（単位：箇所、人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
保育所（園）数（箇所）	3	3	3	3
入所対象児童数(0-5歳) A	1,364	1,367	1,318	1,353
入所児童数(4月1日時点) B	393	431	440	459
利用率(B/A)	28.81%	31.53%	33.38%	33.92%

※資料：子育て福祉課（基準日 各年4月1日）

【認可保育所（園）の入所児童数、利用率の推移】



※資料：子育て福祉課（基準日 各年4月1日）

(2) 幼稚園の状況

本市の幼稚園は公立3箇所となっています。

入園対象児童数(3~5歳)、園児数ともに、平成27年度からは、横ばい傾向にあります。

入園対象児童のうち幼稚園を利用している児童の割合(利用率)も平成27年度から横ばい傾向にあります。

区分 (公立・私立)	名称	所在地	定員 (人)	開所時間
公立	宮田南幼稚園	宮田 3461 番地	70	8:30~14:30
公立	宮田北幼稚園	龍徳 1464 番地	70	8:30~14:30
公立	若宮幼稚園	竹原 5 番地 1	200	8:30~14:30
計			340	

※資料：教育総務課（基準日 平成31年4月1日）

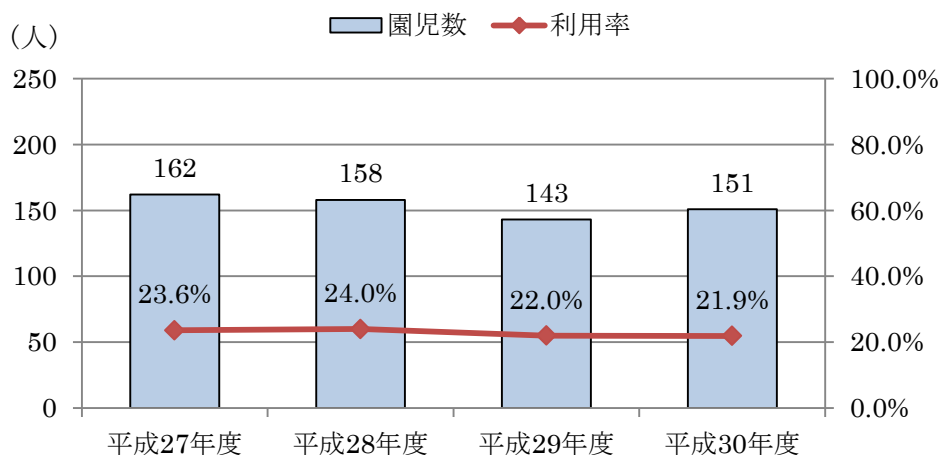
【幼稚園の入園対象児童数、園児数などの推移】

(単位：箇所、人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
幼稚園数(箇所)	6	6	4	4
入園対象児童数(3-5歳) A	687	658	650	688
園児数(5月1日時点) B	162	158	143	151
利用率 (B/A)	23.6%	24.0%	22.0%	21.9%

※資料：教育総務課（基準日 各年5月1日）

【幼稚園の園児数、利用率の推移】



※資料：教育総務課（基準日 各年5月1日）

(3) 認定こども園の状況

本市の認定こども園は私立1箇所となっています。公立認定こども園（宮若市立認定こども園さくら幼児園）は平成31年3月末閉園し、私立認定こども園（宮若さくらこども園）が、平成31年4月に新設されました。

幼稚園籍園児数は平成27年度から減少傾向にありましたが、平成30年度に3歳児教育を開始したため増加傾向にあります。

区分 (公立・私立)	名称	所在地	定員 (人)	開所時間
私立	宮若さくらこども園	磯光 1317 番地 136	185 (保育所籍)	7:00~19:00 (延長含む)
			45 (幼稚園籍)	9:00~14:30 預かり保育有 (14:30~17:00)
計			230	

※資料：教育総務課・子育て福祉課（基準日 平成31年4月1日）

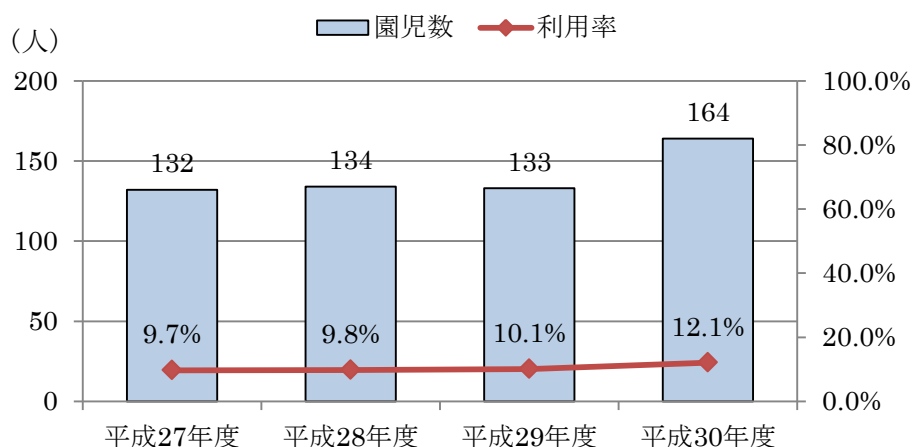
【認定こども園の入園対象児童数、園児数などの推移】

(単位：箇所、人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
認定こども園数(箇所)	1	1	1	1	
入園対象児童数(0-5歳) A	1,364	1,367	1,318	1,353	
園児数(5月1日時点) B	132	134	133	164	
	幼稚園籍	11	7	6	20
	保育所籍	121	127	127	144
利用率 (B/A)	9.7%	9.8%	10.1%	12.1%	

※資料：教育総務課・子育て福祉課（基準日 各年4月1日）

【認定こども園の園児数、利用率の推移】



※資料：教育総務課・子育て福祉課（基準日 各年4月1日）

(4) 学童保育所の状況

本市の学童保育所は、現在5箇所8クラブが設置されています。

入所対象児童のうち、学童保育所に登録している児童の割合（利用率）をみると、平成30年度では、低学年が28.3%、高学年が9.4%となっています。

区分 (公立・私立)	名称	所在地	定員 (人)	実施時間
公立	宮田南学童保育所	宮田南小学校内	45	[平日] 放課後～18:30 [土曜日・長期休暇] 8:00～18:30
公立	宮田北学童保育所	宮田北幼稚園内	80	
公立	宮田学童保育所	宮田小学校内	45	
公立	宮田東学童保育所	宮田東小学校敷地内	45	
公立	宮若西学童保育所	旧若宮小学校内	120	
計			335	

※資料：子育て福祉課（基準日 令和元年5月1日）

【学童保育所の入所対象児童数、登録児童数などの推移】

(単位：人、箇所)

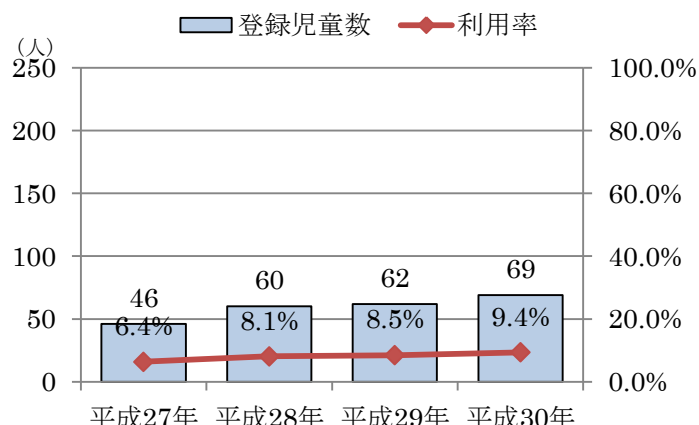
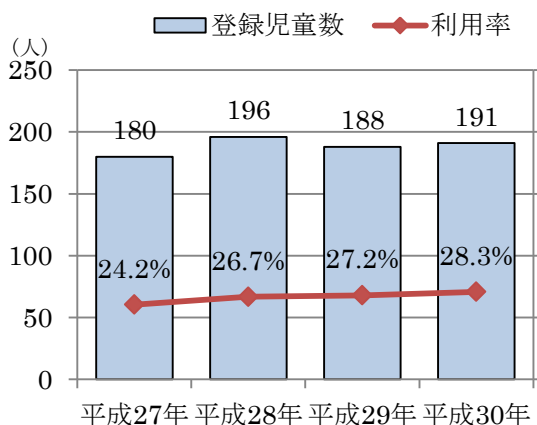
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
実施箇所数		6	6	5	5
低学年	入所対象児童数 A	745	735	692	675
	登録児童数 B	180	196	188	191
	利用率 (B/A)	24.2%	26.7%	27.2%	28.3%
高学年	入所対象児童数 A	716	737	733	733
	登録児童数 B	46	60	62	69
	利用率 (B/A)	6.4%	8.1%	8.5%	9.4%

※資料：子育て福祉課（基準日 各年5月1日）

【学童保育所の登録児童数、利用率の推移】

<低学年>

<高学年>



※資料：子育て福祉課（基準日 各年5月1日）

(5) 小学校・中学校の状況

本市の小学校は公立5校、中学校は公立2校となっています。

小学校、中学校の児童数・生徒数の推移をみると、小学校の児童数は減少経過傾向にあり、平成30年度は1,404人になっており、中学校の生徒数についても減少傾向にあり、平成30年度は695人になっています。

	区分 (公立・私立)	名称	所在地	学級数	在校児童(生徒)数 (人)
小学校	公立	宮田南小学校	宮田 3461 番地	14	285
	公立	宮田北小学校	龍徳 1464 番地	12	225
	公立	宮田東小学校	磯光 573 番地	8	168
	公立	宮田小学校	磯光 1888 番地 6	8	164
	公立	宮若西小学校	金丸 417 番地 1	21	532
	計				63
中学校	公立	宮若東中学校	宮田 3410 番地 2	16	453
	公立	宮若西中学校	金丸 417 番地 1	9	252
	計				25

※資料：学級編成資料（基準日 令和元年5月1日）

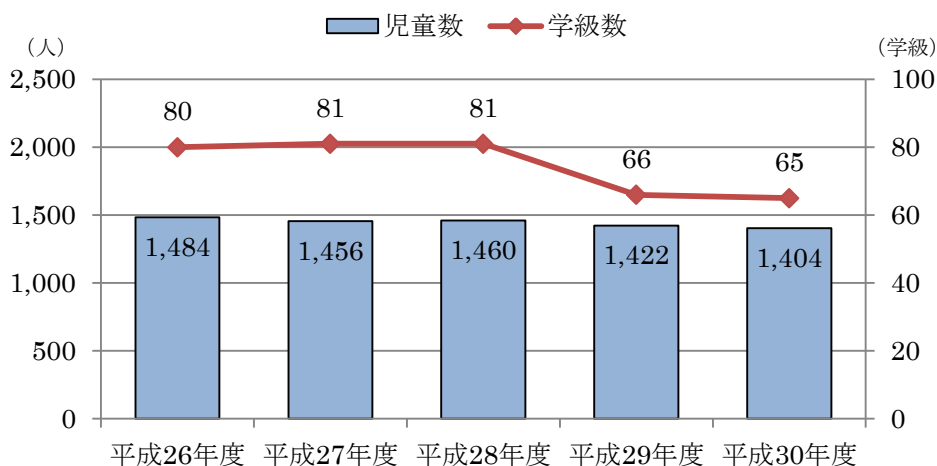
【小学校・中学校の児童数・生徒数、学級数などの推移】

(単位：人、学級)

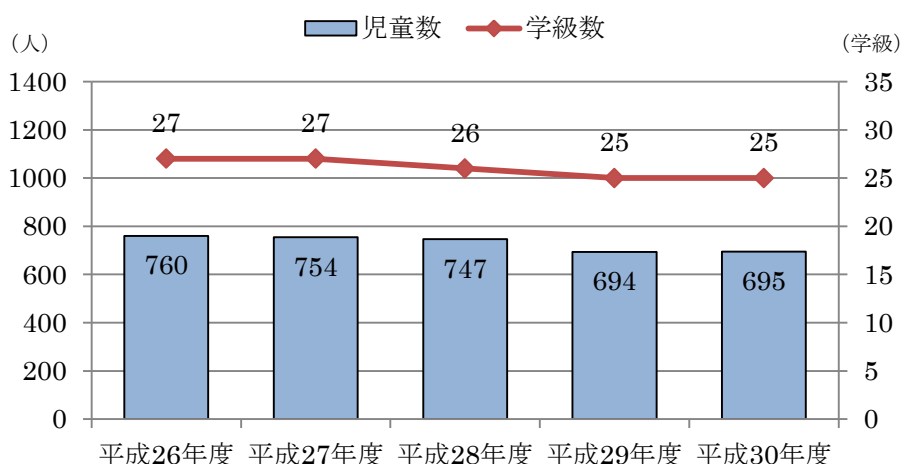
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小学校 (5校) ※29年度～	学級数	80	81	81	66	65
	うち 特別支援学級	9	11	12	13	13
	児童数	1,484	1,456	1,460	1,422	1,404
中学校 (2校)	学級数	27	27	26	25	25
	うち 特別支援学級	5	5	5	4	4
	生徒数	760	754	747	694	695

※資料：学級編成資料（基準日 各年5月1日）

【小学校の在校児童数、学級数の推移】



【中学校の在校生徒数、学級数の推移】



※資料：学級編成資料（基準日 各年5月1日）

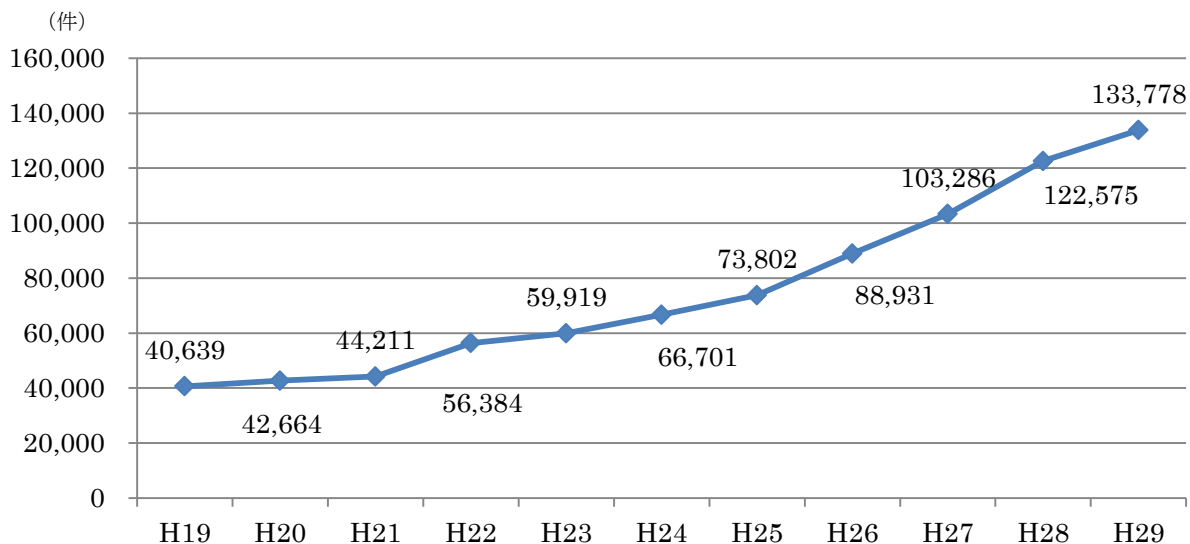
※平成29年4月より、笠松小学校、若宮小学校、山口小学校、若宮西小学校、吉川小学校を「宮若西小学校」に再編しました。

8. 子どもを取り巻く諸問題

(1) 全国の児童相談所における相談件数の推移

平成29年度に全国の児童相談所で対応した児童虐待相談件数は133,778件で、平成19年度と比べて約3.3倍となっており、年々増加しています。

【全国の児童相談所における児童虐待相談処理件数の推移】

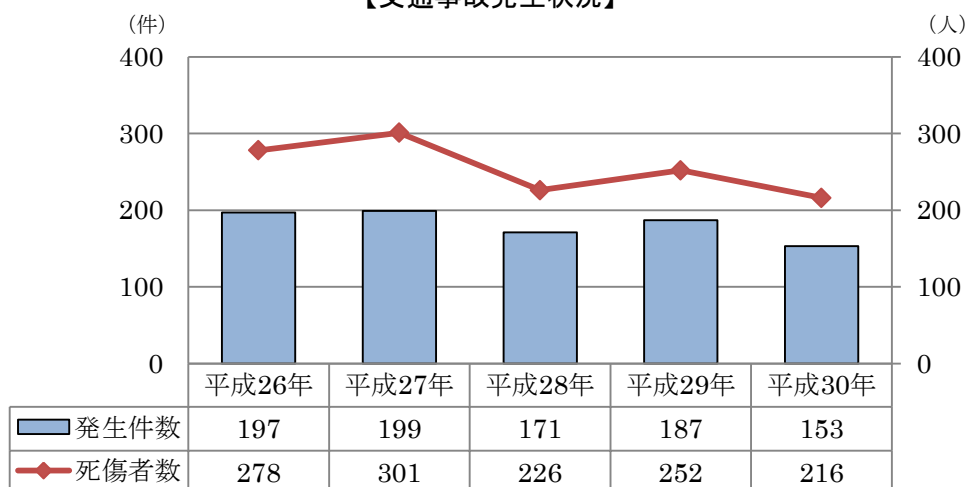


※資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「社会福祉行政業務報告」

(2) 交通事故発生状況

本市の交通事故発生件数をみると、平成26年から170件前後で推移しており、平成30年は153件となっています。また、死傷者数は250人前後で増減を繰り返しており、平成30年は216人となっています。

【交通事故発生状況】



※資料：福岡県警察「交通年鑑」

(3) 刑法犯発生状況

本市の刑法犯発生状況を見ると、平成30年においては、発生件数が200件を超えており、そのうち窃盗が全体の7割以上を占めています。

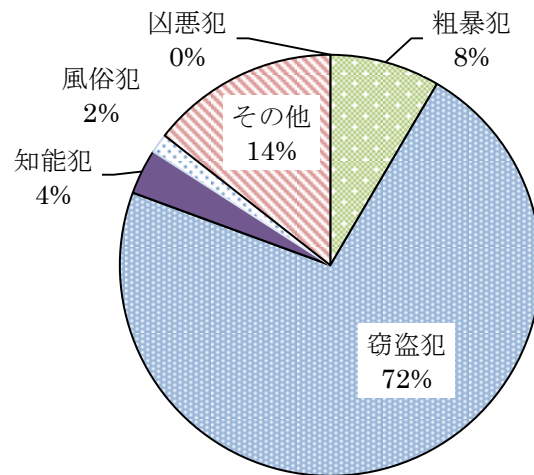
一方、福岡県の刑法犯少年の推移を見ると、平成29年では1,941人となっており、前年に比べ565人、平成25年と比べると2,099人減少しています。

【宮若市刑法犯発生状況】

(単位：件)

刑法犯罪	
凶悪犯	0
粗暴犯	17
窃盗犯	145
知能犯	7
風俗犯	3
その他	29
総数	201

【刑法犯罪種別】



※資料：福岡県警察「福岡県刑法犯市区町村別認知件数」（平成30年）

※端数調整のため、割合の合計が100%にならない場合がある。

※凶悪犯：殺人、強盗、放火等

粗暴犯：障害、暴行、恐喝等

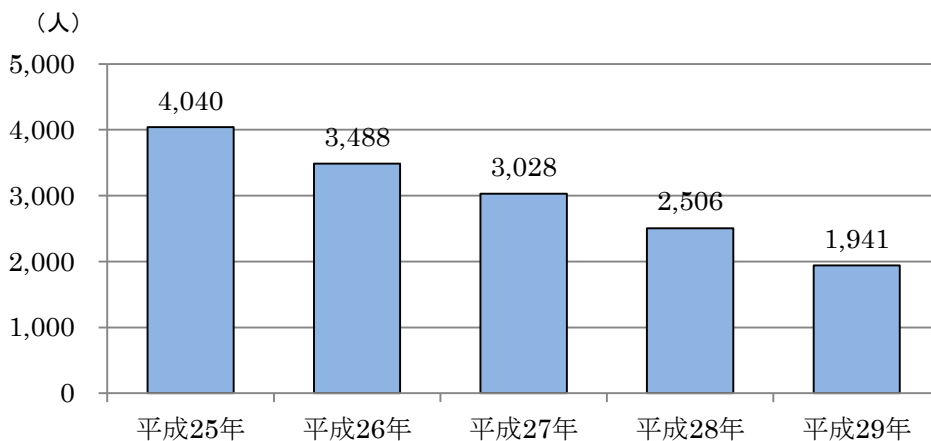
窃盗犯：盗み

知能犯：詐欺、横領、汚職等

風俗犯：賭博、わいせつ

その他：住居侵入等

【福岡県刑法犯少年の推移】



※資料：福岡県警察「少年非行統計」